

## ひよこ組

秋の深まりを感じお散歩が楽しい季節になりました。

10月は初めて歩きとおんぶで陸橋まで行ってきました。電車の音が聞こえる度に「あ〜」と言っては足を止め、興味津々の子どもたち。歩くことが上手になってきましたので、保育者と手を繋いで園外散歩を楽しみたいと思います。

肌寒くなってくると厚着をさせがちですが、保育室は暖かくしていますので、半袖の肌着と薄手の長袖が動きやすいです。また成長の著しいひよこ組です。着替えの時にきつい洋服だと嫌がってしまいます。サイズの見直しや、着脱しやすい物（後ろボタンの服はなるべく避けてください）をお持ちください。今月も健康管理に気をつけながら元気に過ごしていきたいと思います。

## こあら組

秋が深まり、どんぐりやきれいな落ち葉など「自然の落とし物」がたくさん。子どもたちを楽しませてくれています。

天気の良い日には園庭に出て、好きな遊びを見つけて遊んでいます。砂遊びではスコップを持ち、型に入れて「できた」と嬉しそうにする姿やお友だちと顔を見合わせ笑い合う姿が見られます。また、靴や靴下など戸外へ出る準備やズボンの着脱など自分でしようと頑張っています。お家でもぜひ、時間がある時には練習してみてください。

また、おやつを上手に食べられるようになってきたこあら組。朝のエプロンを使用せず給食と午後のおやつのみ使用したいと思います。お持ち頂くエプロンは2枚になりますのでよろしくお願ひします。

## うさぎ組

先月から朝の集まりの時に「立って朝のうたを歌い、挨拶をする」が新しく始まりました。「お歌をうたうので立ちましょ〜」と声をかけると、椅子をしまい、前を向いて立てるようになりました。日々できることが増えていき、成長を嬉しく思います。

ずっと楽しみにしていた恐竜滑り台もすべりました。列に並んで順番を守り、自分の番がくるとニコニコ笑顔。終わると「ちょっと怖かった」という声も聞こえましたが「楽しいー!」と喜んでいました。

天気の良い日は戸外遊びをたくさんします。爪が伸びていると遊んでいる時に引っかかったり、割れたり、ケガの原因にもなりますので、お子さまの爪のチェックをこまめにするようお願いいたします。

## 年少組

日に日に寒くなってきました。上着を着る機会が増えてきますので、着脱や畳み方について知らせていきます。ご家庭でもボタンやファスナーの練習をしてみてください。また、空気が乾燥し、風邪が流行する季節になります。手洗いの仕方を再度確認し、習慣づけていきましょう。

初めてのお店やさんごっこがあります。ばら組はパン屋さん、ゆり組はおかし屋さんを開きます。クラス毎にさまざまな廃材を使い、一生懸命商品を作りました。商品の売り方や買い方を知り、友だちや年長児と売り買いを楽しみます。

11月15日は七五三です。自身の成長に気付き、喜ぶとともに、いつも見守ってくださっている周りの方々への感謝の気持ちを育んでいきたいと思います。

## 年中組

涼しい日も多くなり、上着を着てくるお子さんも多くなりました。自分でロッカーへしまえるよう、畳み方を練習しています。

お店やさんごっこに向け、みんなでどんな商品を作って売るか考え、日々商品作りを頑張っています。

ふじ組でカメラを作ると、友だちと写真を撮り合ったり、首から掛けて廊下へ写真を撮りに行くなど、作った商品に愛着を持っている姿が見られました。

うめ組でお寿司を作ったときには、ワクワクしてお寿司のネタを選び、本当に握っているように楽しんで作っていました。どんな商品を作っているかお子さまに聞いてみてください。

## 年長組

芋掘りを通して、友だちとの仲がより深まったように感じます。たくさん採れたのが嬉しく、どのようにして食べたかを友だちと楽しそうに話す姿が見られました。

園生活最後のお店やさんごっこが近づき、商品作りに励んでいます。体験コーナーでの遊び方の説明や、対応の仕方を考えていきます。50円をどのように使うか、楽しみにお待ちください。

いよいよクリスマス会に向けて、劇の話し合いを進めていきます。配役が決まると台詞を覚え、初めてマイクの前で発表する経験をします。皆で心を合わせ、劇を作り上げていきたいと思います。

楽しい行事が待っていますので、体調管理に気をつけて過ごしましょう。

### 《幼児 11月の目標》

◎冬の生活習慣について 手洗いや衣服の調整といった冬の生活習慣を身につけていきます。

- ・石鹸でしっかりと手を洗いましょう
- ・鼻水が出たらティッシュペーパーで鼻をかみましょう
- ・ポケットに手を入れて歩くと危ないので出しましょう
- ・防寒具のファスナーやボタンを留めましょう

◎けんか（葛藤、つまずき、いざこざ）について

お子さまが「ともだちとけんかした」とご家庭で話すことはありませんか。そのような話を聞くと心配になりますね。けんかは成長の一步です。一歳の頃の「一人遊び」、そして二歳の頃の「平行遊び」（同じ遊びを並んで別々にする）を経て、幼児期に好きな友だちと一緒に何かをする「連合遊び」「協同遊び」へと移行していきます。他者に興味を持ち、関わるようになった中でけんかをするのは自然な姿です。数々のけんかを通して、様々な感情を経験し、自己をコントロールする力を身につけます。相手の気持ちに気づき、対人関係のルールを知り、心持ちを育む機会です。

- ・けんかをしたときは自分の気持ちを表現しましょう
- ・表現や解決が難しいときは周りの大人に「たすけて」と言いましょう